

本カリキュラムの特長

科目3では「6次産業化実践論」として、6次産業化のアイデアを得るための事例分析やビジネスモデル構築のシミュレーションを目的とする科目とした。

最後の科目4は「新事業創出実践論」として、受講生グループの内発性を喚起しグループ毎の独自の集まり等も促し、実現可能性の高いビジネスプランを実際に構築するプログラムを実施した。

科目3

「6次産業化実践論」

2013 12/14 (土)	科目3 オリエンテーション	事務局
	コミュニケーション手法	農都共生総合研究所 川辺 亮
	6次産業化の必要性と展開パターン 融合型6次産業化事例	東京農業大学 木村俊昭
2013 12/15 (日)	オフィス・アワー	事務局※希望者のみ
	行政機関における 6次産業化の支援施策と支援機関	北海道農政事務所 橋本一也
	ケースメソッドの実施方法の解説	事務局
	連携型6次産業化事例Ⅰ 連携型6次産業化事例Ⅱ	北海道農業改良普及協会 黒澤不二男
2013 12/21 (土)	ケースメソッド： ケースⅠのグループワーク	東京農業大学 渋谷往男
	ケースメソッド：ケースⅠの解説	
	ケースメソッド： ケースⅡのグループワーク	
	ケースメソッド：ケースⅡの解説	
2013 12/22 (日)	オフィス・アワー	事務局
	輸出型6次産業化事例とそのポイント	はまなす財団 小倉龍生（一期修了生）
	海外6次産業化実践論	
	食品系の6次産業化実践論 非食品の6次産業化実践論	北海道農業改良普及協会 黒澤不二男

前半 12/14 (土) 15 (日) は、内閣官房 地域活性化伝道師として全国各地で講演やアドバイスをを行う東京農業大学の木村俊昭教授および北海道農業改良普及協会の黒澤氏による6次産業化の事例紹介や、北海道農政事務所の橋本統括監からは行政の立場から、現行の法制度における支援施策や機関について情報提供した。

後半 12/21 (土) は、ケースメソッドの手法を用いて、2つの事例におけるマーケティングと事業展開の検討を行った。22 (日) は、本事業一期修了生であり、はまなす財団勤務の小倉氏より輸出に関する基礎知識および輸出型6次産業化事例を学び、更に黒澤氏が食品系及び非食品系の6次産業化について講演を行った。



科目4

「新事業創出実践論」

2014 1/11 (土)	科目4 オリエンテーション	事務局
	プレゼンテーション手法	農都共生総合研究所 川辺 亮
	経営理念の策定	
2014 1/12 (日)	6次産業化ビジネスの構想	農都共生総合研究所 川辺 亮 女性起業家/ 渡辺典（前成熟一期修了生） 古川雅子、後藤茂美（二期修了生）
	製品・サービスの設計	東京農業大学 黒瀬秀久
	事業環境の分析	東京農業大学 菅原 優
	事業内容と事業目標の設定Ⅰ 事業内容と事業目標の設定Ⅱ	
2014 2/1 (土)	マーケティングの手法	農都共生総合研究所 川辺 亮
	マーケティングの検討	
	収支計画の策定手法 収支計画の策定	東北農都共生総合研究所 片岡修一
2014 2/2 (日)	オフィス・アワー	事務局※希望者のみ
	ビジネスプランのリスクチェックと 実践方法及び全体調整 ビジネスプランのグループ内分析	農都共生総合研究所 川辺 亮
2014 2/15 (日)	ビジネスプランの発表会Ⅰ	<審査員> 北海道銀行 産業戦略部 西山部長、公益社団法人北海道農業改良普及協会 黒澤会長、北海道農業協同組合中央会 農業企画課 沼田課長、実学！6次化リーダー養成塾 黒瀬塾長、網走市役所 三島経済部長、北海道オホーツク総合振興局 山崎産業振興部長、特定非営利活動法人健康保養ネットワーク 企画運営部 伊藤主幹、株式会社 農都共生総合研究所 川辺亮
	ビジネスプランの発表会Ⅱ	

科目4では、受講生を4グループに分けて、グループごとのビジネスプランを作成する。グループワークショップを中心に行い、受講生の想いを事業として形にしていた。

前半 1/11 (土) 12 (日) は、「経営理念」「事業構想」の策定から始まって、具体的な事業内容・目標及び、製品・サービス設計を行った。

後半 2/1 (土) 2 (日) は、前回までに作成した事業内容を、マーケティングや収支計画をもとに評価していった。

